

水環境学会中国四国支部ニュースレター

vol.4(7), 2002 年 12月, 2ページ

<http://www.jswe.or.jp/katu/shibu/chushi/index.html>

このニュースレターは支部の会員の皆様に支部の動向をお伝えすることを目的として不定期に発行します。

担当：上月康則 徳島大学大学院工学研究科エコシステム工学専攻 〒770- 8506 徳島市常三島町2- 1

TEL.&FAX.088- 656- 7335 kozuki@eco.tokushima- u.ac.jp

幹事会議事録および講演会，鳥取県衛生環境研究所見学会の報告

1．幹事会議事録

日時：11月25日(月)13:30-15:00

場所：鳥取県衛生環境研究所

1) 地公研所長の副支部長の就任について

中国四国支部内規にあるように引き続き地公研等所長の支部長，副支部長への就任を依頼していくことを確認した。まず所長会議などの機会を利用し，趣旨の説明など，話し合いを行っていく。

2) 支部長の決め方について

内規のように前年度の副支部長が支部長となることを確認した。本件は議題1)に関連しており，地公研等所長への支部長等への就任依頼を継続する。

3) 本部理事の決め方について

水環境学会誌11月号にあるように本部理事の決め方が改正されたことが村上支部長から説明があった。各支部の支部長の他には，支部会員5名の推薦を受けた会員の中から選挙によって他の理事が決定される。

4) 幹事長の決め方について

合意事項の一部が改正された。旧：次期幹事長予定者は監事の一人とする 新：監事または幹事の一人とする。

5) 7年ごとの年会後充てられる支部活動費(約150万円)の使用方法について

あらかじめ会員から収集した意見を紹介し，議論した。その結果，主に若手会員，地公研等研究所に所属する会員を対象とした研究助成に充てることとなった。本助成金は研究に要する器具，資料等の購入，旅費等に使用することができ，募集要綱，選定方法，助成報告等については広く会員の意見を収集し，改めて検討することとした。

2．講演会および見学会の報告

2.1 講演会

生物利用による環境改善手法に関する研究に関する2題の講演「船舶の接岸できる人工海岸の生物群集と物質循環」倉田健悟助教授・島根大学汽水域研究センター，「水生植物による水質浄化」矢島啓助教授・鳥取大学工学部がなされた。1題目は，直立海岸構造物に付着する生物が湾内の物質循環を歪ませている問題を岸壁

の構造を改変し、そこに多様な生物が生息することによって自立的に環境修復を狙った技術開発に関する講演であった。泊地機能を損なわないことやメンテナンスフリーで持続的な効果が期待できることから社会経済的機能に対立しない生態工学に基づく技術のひとつと言える。2 題目は、農業集落排水処理施設からの排水を休耕田中の水生植物によって処理する取組みに関するものであった。学術面はもとより大学関係者と住民、行政が一体となり取組んでいる点に強く興味を魅かれた。今後、3 者協働による環境保全事業の要請が益々高まってくると思われるが、このように地域活性化までを視野に入れた本取組みは本分野の先行事例の一つとして位置づけられると思われた。

2.2 衛生環境研究所の環境対応施設の見学

南條氏にご案内頂き、施設見学を行った。施設の外観とオープンな玄関ホールに研究施設とは思えないようなソフトな印象を持った。また太陽光発電システム、太陽熱給湯システム、リサイクル材料の利用、風力揚水ポンプ、屋上緑化断熱、敷地内ビオトープ、県産材の利用など各場所に環境に配慮したシステムが伺えた。特に屋外の明るさに応じて室内の照明の強さを変える昼光利用照明システムや羽合温泉にも隣接している“地の利”を活かした地中熱利用空調システムなどには、大変興味深く話しを伺うことができた。施設見学者も多いと聞きましたが、会員のみならずにも是非とも一度見学されることをお勧めします。

最後になりましたが、鳥取県衛生環境研究所所長様、南條幹事には幹事会会場および施設紹介、見学に便宜を図っていただきました。ありがとうございました。

文責・上月康則

共催行事のお知らせ

湖山池こどもシンポジウム
～私たちの湖山池を描こう～

日時：2003年1月19日（日）
午後1時30分から4時まで
場所：鳥取県民文化会館小ホール
主催：鳥取大学

湖山池周辺の小学校で行われた湖山池を題材にした総合的な学習の1年間の成果発表と、児童、一般市民、大学関係者が湖山池の環境をテーマにパネルディスカッションを行います。

事務局より

皆さま方には本年も水環境学会中四国支部の活動に多大なご支援を頂きましたことに御礼申し上げます。来年度も益々本支部が発展いたしますように精進致す所存でございますので、ご指導ご鞭撻を頂けますようよろしくお願い申し上げます。皆さま方におかれましてはよりよい年を迎えられますようにお祈り申し上げます。

事務局一同